農民の研修所が完成

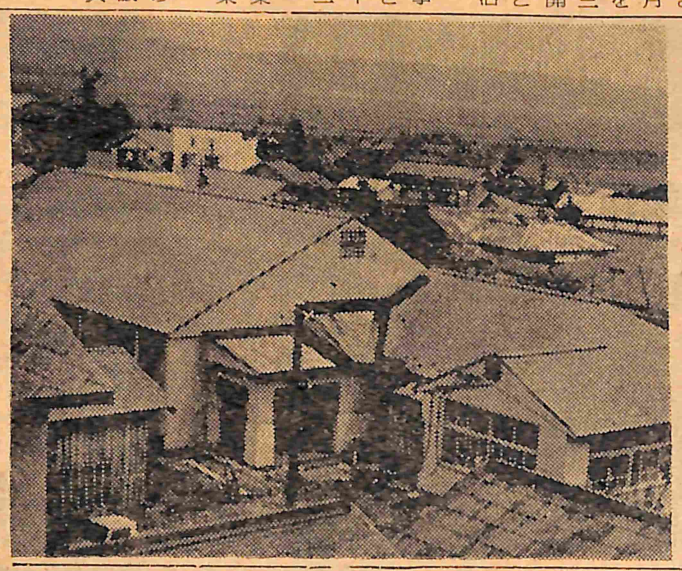
中堅青年の養成機関

本格的活動は八月から

〝新しい村づくりは人づくりから〟という地域の青年婦人の要望にこたえて、農林漁業地域に指定された初年度事業として、まっさきにとりあげた青年研修所は四月末に竣工し、その後手直し工事をしていたがこのほど完成、六月三十日十一時から落成式をかねて開所式を行ない、農村振興の拠点として八月から本格的ないよいよ活動をはじめることになった。

この青年研修所は、研修室、農事相談室、土壌検定室、図書室などがあり、総工費三百八十三万六千円の木造モタル塗装、建坪四〇二・六平方㍍のものである。

研修所は、青年婦人の自主的な集団活動によって利用し、農林漁業に関する知識、測量、機械操作、土地調査、漁場調査、生活文化の改善等に関する講習、講話、討議実習などを行なって、地域の振興事業の実践と促進を図ることを目的としており、今後の運営については、町当局では、すでに年間計画をたてており、地域農民から大きな期待がかけられている。



【写真＝中央部は青年研修所】

農地の集団化を計画

本年度は川倉、嘉瀬地区

金木町農業委員会では、農地の集団化（交換分合）を昭和三十六年度から五カ年計画をたて、農業経営の合理化を、さらにすすめることとなった。

本年度は川倉七夕野地区二百㌶、嘉瀬地区百二十㌶の農地の交換分合と、農地集団化の前提となる附帯事業の農道三千㍍開通を計画しており、川倉地区の農道改良工事は六月初旬から着工している。

この農地の集団化による利点について、その一例を次にあげてみよう。

Aさんは水田〇・九㌶、畑一・四㌶、果樹園〇・三㌶をもっているが、畑と果樹園が八カ所に離れているため、この粗収入は年間約四十五万円となっている。

この農地を三カ所に集めればどうなるか、ということで農改普及所が調査した結果、収入が年十二万円もふえることがわかり、Aさんは一日も早く交換分合を実施してくださいと毎日のごとく催促するほどの熱意をみせている。

このように農地の集団化が、農家所得の増大に大きな利益をもたらすものであることがわかっていても、関係者のうち一人でも反対者があれば、その実現はむずかしくなるので、当局側では『本年度の事業はかりでなく、今後の農業振興のためにも協力してほしい』と要望している。

木立農委会長の話＝農地を集団化することによって、区画整理、耕地整理、用排水路の統合改廃、農道の整備拡張、暗渠、客土など国庫補助、融資の対象になる事業がもっとも手近かに、しかも早く実現されることになりますから、農家の皆さまには協力してくださることをお願いするとともに、集団化による農業経営の近代化を計画的に進められるよう望みます。

優勝まであと一歩

全国大会で認められた奴踊

嘉瀬奴踊保存会（会長土岐繁一氏）では、この春三月十二、十三日の二日にわたって東京都台東体育館で行なわれた第十一回全国民謡大会に県代表で出場し六位に入賞したが、このほど同大会審査員の永井先生から『優勝した浅草追分支部の〝じょんから節踊〟と比較してみていさかも見劣りはしない』との感想文が六月十五日付の『日本民謡協会々報』に掲載されていたので次に紹介しよう。

『一部の踊りの中で、私として最も高く評価したのは、みちのく支部の〝嘉瀬の奴踊〟と、浅草追分支部の〝じょんから節踊〟だった。

奴踊は伝説として、配流の身となった主人を慰めるために、その奴が踊ったというだけあってどこか大まかな味と素朴な感じに、民謡の踊りとしての好ましさがあった。

舞台馴れぬいかにも素人らしい演出ながら、踊るにしたがってよく揃い、全体の意気がよく合って次第に気分の盛り上がってくるのを認めることができた。果せるかな会場には拍手の嵐がまき起った。審査の結果もこれが最高点で、優勝したのは当然だと思う。一方〝嘉瀬の奴踊〟は第六位入賞に留まった。

ここでまた私は〝じょんから〟の〝正面踊〟と〝奴踊〟の〝輪踊〟とを比較して考えてみたい輪踊では一人々々が寸分違わぬ形に踊っていても、輪の中の位置によって、観る人には後向き前向き、斜向きといろいろ異なった形が目に入ってくる。全体が一つの形には映らない。正面踊りの方は横列に並んでいるから、幾人いても形は同じで、観る人の目には全体が一つの形に映ってくる。舞台で踊る場合両者の間に、ショウ的効果に得失の差のあることは免がれない。輪踊では輪になり輪を解く舞台の出入りに隊列の編成進行展開の変化を工夫すべきだと思う』

なお同大会の出場者は次のとおり。

◇解説　土岐繁一◇歌手　成田善蔵◇三味線　木村キネ、棟方盛衛◇踊手　山中ミチ、平川スヨ、山中サダ、山中キエ　山中スエ、鳴海スヨ、沢田キエ　阿部キワ、木立ヤサ、山中リセ

【写真＝東京台東体育館で踊る嘉瀬奴踊保存会の会員】

赤字の汚名近く返上

徴税成績は新町最高記録

ここ数年間、西北県税事務所管内で下位の徴税率を示めしてきた当町は、昭和三十三年度から次第に上昇し、昨三十五年度には町税調定額四千八百八十八万六千八百九十五円に対し、三千九百九十二万一千二百七十九円の予算額を計上したのだが、決算上では収入済額が四千二百九十二万八千七百九十八円となり、徴税率が八六％という好成績だった。

当局ではこの好成績を町民の納税意欲が向上したものとみており、町税の納入率向上は町発展に大きな影響をもっているので、赤字団体としての汚名を返上するのも間近かだと明るい表情だ。

対馬税務課長の話＝昨年度八六％という成績を納めましたのは、町民各位のご協力の賜と深く感謝しています。

しかしながらこの好成績をあげるまでには、昨年度だけで百二十件の差押処分をするなど強行手段をとったりしましたが、納税者の実態をよく調査したつもりであっても、落度があったり、相当苦労したものです。この分だと赤字の汚名を返上できるのも近いことと思います。町発展のためにも今後ともよろしくお願いします。

普及員おき経営改善

相談所開設の金木町商工会

金木町商工会では、昭和三十六年度から区域内の商工業者の経営改善に積極的にのりだすことになりこのほど相談所を役場内に設置した。

この相談所には、通産大臣より資格認定を受けた経営改善普及員一人（沢田悦造氏）を配置し、すでに活動をはじめているが、普及員の仕事について次にその主なものをあげてみよう。

・相談＝生産、販売、労務、金融、経営など商工業一般について相談に応ずる。

・診断＝商店や工場の経営状況を実地に診断し、今後の指針を与える。

・その他＝全国各地の商工会と連絡し、取引紹介や信用調査などして会員の便宜をはかる。

▽大橋商工会長の話　相談所には普及員を常時配置し、必要に応じては講演、講習などを行なう計画をたてております。また機密事項については、責任をもって守ることになっていますから、遠慮なくご利用ください。

ラジオ農業学校

すすめたい　テキストの利用

県では今、農家の後継者であって、義務教育終了後引き続き教育をうける機会がなく、営農に従事しつつある子弟を対象として農業教育を実施し、企業的農業の担い手としての素質を涵養させるため毎朝六時三十分より四十五分まで十五分間、青森県ラジオ農業学校講座を、NHK青森第二放送を通じて開いている。

この学習は、農業に直接役立つ基礎知識、実技の習得を重点としており、テキストの講義、研修の講師には県の門門技術員、地区農業改良普及所など、県の関係機関の職員があたる。

学習の方法はテキストで行なわれるが、テキストは役場産業課で販売しており、町当局では『内容は各部門にわたって詳細にもられてあるから、ゼヒ一冊を』と推奨している。

定価一五〇円。

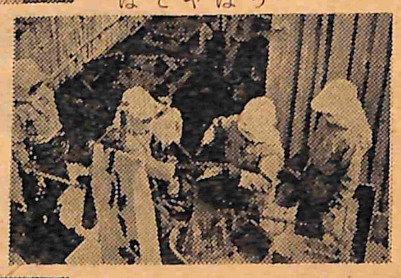
写真ニュース

親ごころ子知らず

かわいそうに！と思うでしょうがこれは小児マヒにかかっては大変と、嫌がるわが子に無理ヤリ二回目のワクチン注射をしてもらっているところ。三回目は来年一月頃

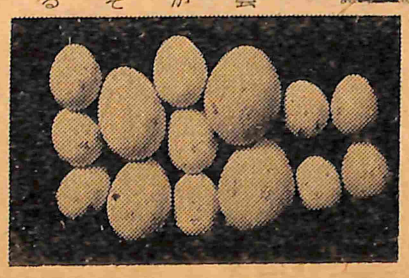
藤枝でカ、ハエの皆殺し

藤枝三春生活改善グループ（会長外崎美子）では、部落のカ、ハエを絶滅させようと三年前から毎年薬剤撒布をしてきたが、今年も実施したがこの写真はそのときの薬剤調合の一コマ。だが他の部落から進入してくるカハエはどうしますか？。



この卵みたことある？

この春、芦野公園に動物園をつくったが鳥類の産卵率のよいことには関係者は大オドロキ。尾長ドリは毎日、クジャク、キンケイなどの銘禽類は五日に一コ　尾長ドリは二十羽生まれた写真は左から銀鶏、七面鳥、尾長鶏、孔雀　金鶏　きじの卵。



町民の声

公園にゴミを捨てるな

【問】先週の日曜日、こどもを連れて公園を散歩しましたところ、招魂堂西南側の凹地がゴミ捨場になっていました。花見時には、この辺は家族連れが弁当を開いていた場所だったはずです。

しかもここには忠魂碑や松尾芭蕉などの句碑も建てられてありますが『ゴミ禁止』と役場名の立札がありますが、いったいどうしたことでしょうか。　（Y生）

【答】三年ばかり前からこんな状態が続いていました。公園附近の町内の方たちのやったことと考え調査しましたが、どっやら金木町の中心町内から暗夜に乗じて運んでくるらしいことが最近やっとわかってきました。

廃介処理施設をもたないのでこんなことになることと思いますが、なんとか近いうちに善処するつもりです。（産業課・厚生課）

一人四百字以内、紙上とく名を認めます。建設的なご意見をお寄せ下さい。

昭和36年産米
政府売渡予約増強運動
◎米の売渡しは全量政府に
◎金木町予約確保目標数量85,300俵
金木町
金木町米穀売渡推進協議会
金木町農業委員会

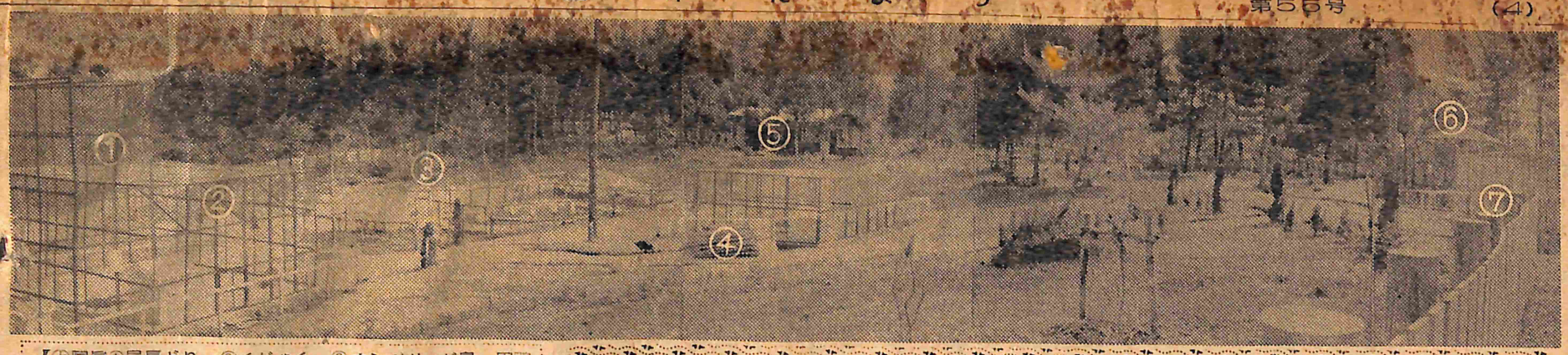
自衛官募集

・・2等陸海空士・・

○採用人員（全国）
陸　約五、〇〇〇人（入隊八月下旬～一〇月上旬）
海　約九〇〇人（九月中旬）
空　約一、三〇〇人（九月上旬）

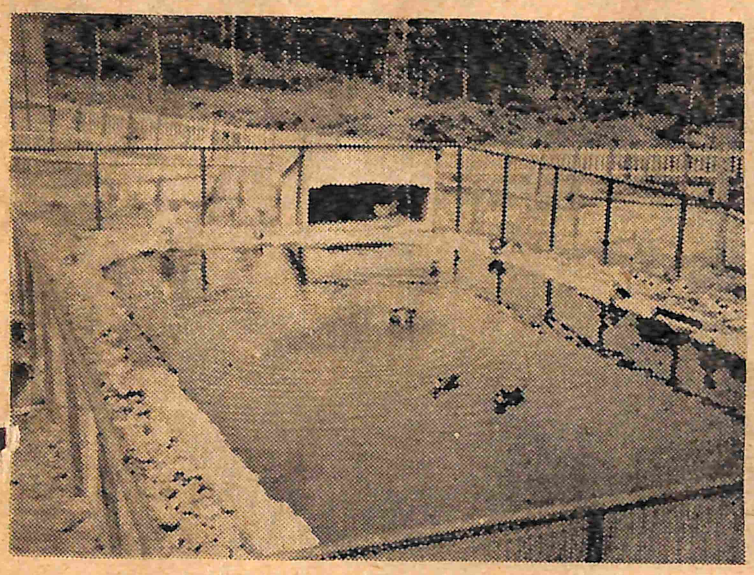
○資格　一八歳～二五歳未満
○受付　六月一日～七月二〇日（金木町役場）
（試験当日まで受付けます）
○試験場　七月下旬　五所川原市
○待遇　初任給七、六〇〇円（その他衣、食、住官給、年二回賞与支給）

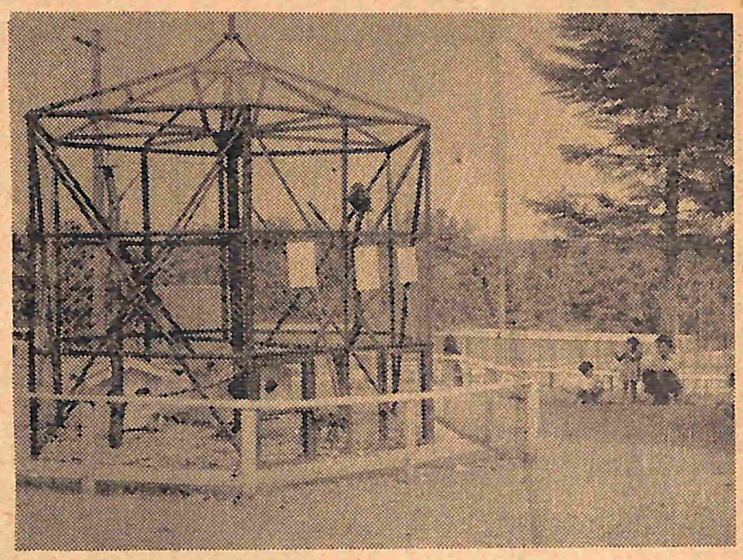
募集についての志願手続きや問合せは、役場または自衛隊青森地方連絡部へ。



【㊤写真①尾長どり　②くじゃく　③オシドリ、が鳥、巴鴨　鴨　④あおさぎ、日本きじ、きんけい、ぎんけい　⑤管理室　⑥カニクイざる、ジャワざる、フィリッピンざる　⑦しか】

好評の芦野児童動物園





昭和三十三年県立公園屏風山、櫂現崎の観光ルートの東口として指定された当町の芦野公園は、桜の花見と夏のボート遊びのほか、これという施設もない単調な公園だったので、昭和三十四年七月、町の諮問機関として〝金木町公園管理運営委員会〟を設け、芦野公園の整備拡張に乗りだした。

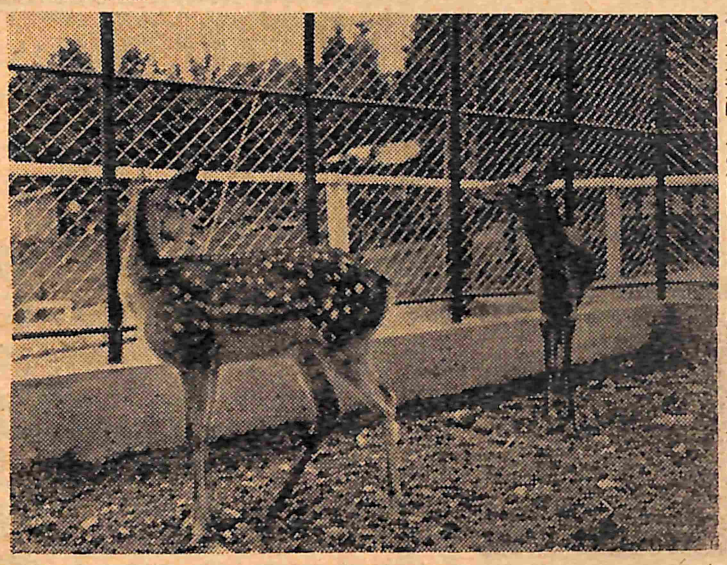
同委員会では、さっそく整備計画の策定にとりかかり、第一次は三ヵ年で①マツ、スギの針葉樹が多すぎるので、八重桜、しだれ桜のほか年中観賞できる樹種に切りかえる②家族ぐるみで楽しめる遊園地とするためサル、シカのほか鉛禽類を主とする小動物園を設ける。という方針のもとに計画をたて、それを実行に移してきたのである。

だが、まだ春四月完成の動物園を知らない方が多いということを耳にしたので、そのあらましを写真を載せ紹介してみよう。

芦野公園内にある〝芦野児童動物園〟は、この春四月十日から工事に着手し、開園日を桜まつり以前とすることを目標に、日本三景の一つ松島公園の動物園に動物購入を申入れ　昼夜兼行で作業を進め予定どおり〝桜まつり〟の初日、二十九日には完成、開園式を行なった。

その後人気は日増しに高くなり、いまでは雨の日でも入園者のない日がないほどである。

この動物園に要した経費は動物購入費が三十八万五千円、動物の収容施設費に百八十万円、管理棟三十四万円　管理費三十万円、越冬含三十六万円、その他園内整備※この地方の人たちからは大きな期待がかけられている。



※費四万円、計三百十万五千円であるが、そのうち津軽鉄道株式会社四十万円、金木町商工会十五万円、計七十五万円の寄附金があてられ、他の経費は町が負担することになっている。

動物園の今後の整備拡張や、第二段階としての遊園地設置については、昭和三十七年度から五ヵ年の公園整備第二次計画をたてることになっており、その主なものをあげれば次のとおりである。

芦野児童動物園

①猿は現在のオリから開放して猿山をつくる。

②鹿も猿同様に一定地域に放し飼いをする。

③現在動物園は主として鉛禽類を飼育するとともに、珍樹、珍花を植える。

④五年後には現在の動物園の隣接地に猛獣、珍獣類の動物園を増設する。

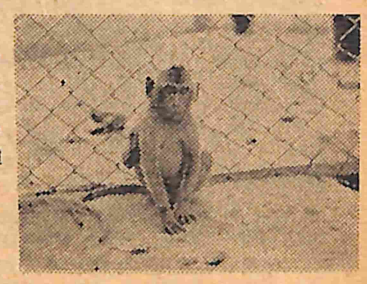
遊園地

動物園の隣接地区に児童遊園をつくり、各種メリーゴーランド子供汽車、その他の施設をする

以上のものを考えているが、動物園や遊園地が完備すれば入場料をとり、独立採算制の確立をはかることになっており、西北地方唯一の〝いこいの場所〟となるので、この地方の人たちからは大きな期待がかけられている。

現在この動物園には、カニクイざる（親牝一、仔牡三）ジャワざる（仔牡三）フィリッピンざる（親牡一）計八匹。しか（牡一、牝一）計二頭、クジャク一番、尾長鶏一番、金鶏鳥一番、銀鶏鳥一番、日本きじ一番、アオサギ（牡一羽）ガチョウ一番。オシドリ三番、巴鴨一番、鴨（牡一羽）白キジ一番が飼われており、近くまたタヌキ一番が入園の予定である。

また鳥類はそれぞれ産卵し、生まれているのもあるほか、明春にはサル、シカも誕生をみるのでますますにぎやかになることと思われる。

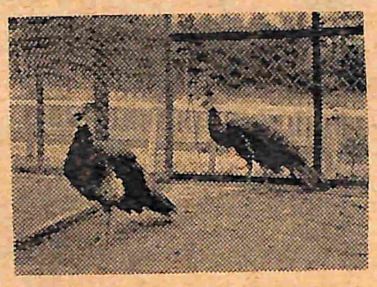


かにくい猿

満一歳。ビルマ、マレー、フィリッピン等に数百の大群をなして住んでおり、果実、種子、昆虫を好んで食べ、よく人になれるので最も多く輸入され、また医学の実験などに利用されている。

フィリッピン猿

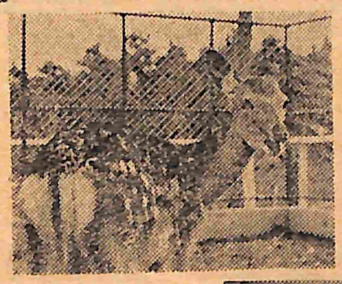
三歳。フィリッピン地方に住んでいる。タローという名前がついていて、前はとても人になついていたのだが、ここへ来てからは、あくといイタズラをされるので、人をおそれ、意地がわるくなっている。ジャワ猿は同種である。



ほうおうくじゃく

くじゃくには、いんどくじゃく、まくじゃくなどあるが、そのうちの王さまといわれ、三年後には百数十本の尾羽を広げると直径四尺にもなる。

ここの動物園の鳥類でも一番値段が高く、一つがい五万円もする。

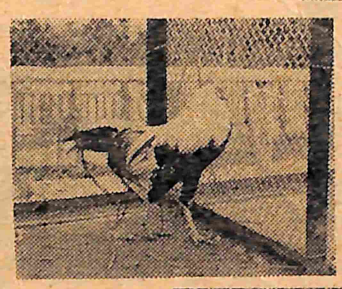


日本鹿

この鹿は金華山生れで、別名〝きんかさん鹿〟ともいう。牡は今ちょうどつのが生え始めているが肩高六、七十糎。つのは毎年二月頃には落ちるが、体は今よりうんと大きくなり肩までの高さ一尺余となる。明春には仔が生れる。

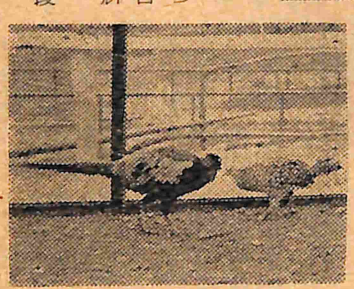
白藤尾長鶏

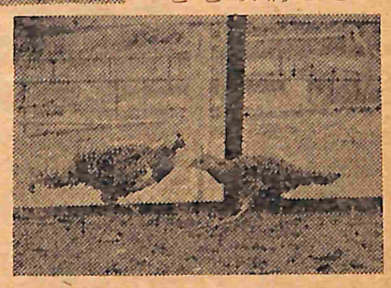
天然記念物に指定されている。にわとりの改良種で高知県が原産地日本特色の珍種で外国にも輸出されている。これは若親なので尾は短いが、上手に飼育すると八尺にも長くなる。飼い方はにわとりと変らないが、尾を長くするには手数がかかる。



日本きじ

日本にだけしか、ない鳥で桃太郎のお話でも有名だが、あまり皆んなが獲ったので大変少くなった。雄は雌よりも大きく美しい。この辺の山にはきじとよく似たやまどりが住んでいる。このきじは六月に入り卵を生みはじめた。

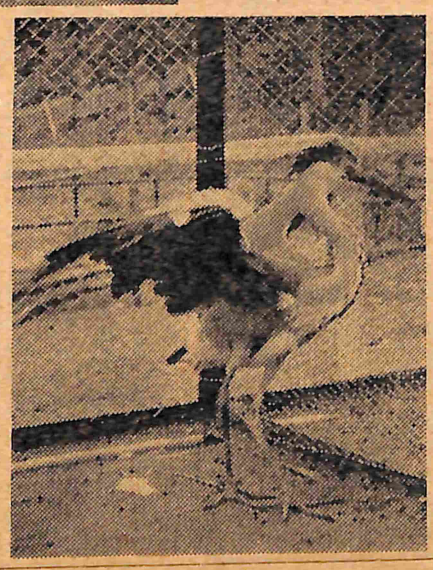




ぎんけい

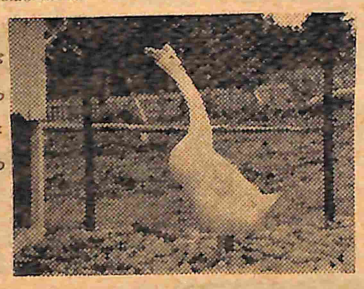
東チベット、西中国の高山に分布ここのぎんけいはまだ尾が短かいが、体長の二倍もの美しい尾をもつ。

きんけい同様、容易に繁殖し、雌はぎんけいの雌とほとんど同じだが、顔が青みを帯びている。



あおさぎ

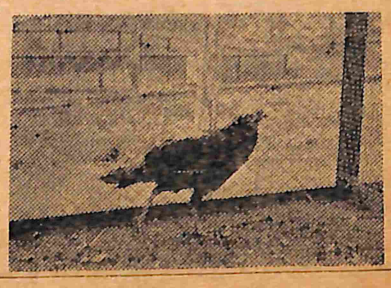
日本産のさぎで最大のもの。非狩猟鳥であるが、負傷して飛べないでいたものを収容し、目下農林省に許可申請の手続き中。



がちょう

ドイツ、フランス種などと色々あるが、本種は中国種の白色のもの頭の上に円いこぶのあるのが特徴で、普通家庭では肉用として飼育し、羽毛は蒲団用として最も重宝がられている。

近く一羽卵からかえり入園予定。



きんけい

きんけいも、ぎんけいも、またほかの鳥類もそうであるが、雌よりも雄がとても美しい。

光沢のある金と緑の羽の色は人々の足を止める。中国の山地に産するのであるが、昔から日本に輸入されており容易に繁殖する。

猿、鹿に名前を

園内の猿と鹿に名前をつけてください。

現在名前のついているのは、フィリッピン猿（牡）のタロー君のみですが、その他の猿鹿には名前がありませんので皆さんでつけてください。

◎かにくい猿
メス親猿　三歳　一匹
メス仔猿　一歳　一匹
メス仔猿　二歳　一匹
オス仔猿　一歳　一匹

◎ジャワ猿
オス仔猿　一歳　三匹

◎鹿
オス仔鹿　一歳　一頭
メス仔鹿　一歳　一頭

園内管理室（売店）に投書箱と用紙を備えておきますからご自由に書き入れ、投書してください。